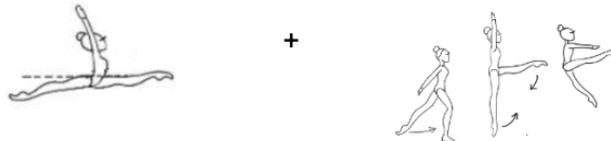


2.7.2. テクニカル要素 12歳-14歳

1. リラクゼーションを含むボディームーブメントAシリーズを1つ(0.3)
2. コントラクションを含むボディームーブメントBシリーズを1つ(0.4)
3. リーンとベンディングを含むボディームーブメントCシリーズを1つ(0.5)
4. 単独のリープ/ジャンプ(0.2): タックジャンプ/リープ360°(あらゆる方向のローテーションが可能)



5. リープ/ジャンプシリーズ(0.3): 最低135°の開脚度、左脚が前方開脚リープ+右脚を始めに挙げるシーザーリープ(90°の開脚度)の2つのリープ/ジャンプを含むシリーズ。ジャンプの間での2歩のステップは許可する。



6. ダイナミックバランス(0.2): パッセピボット360°(右または左のパッセポジションにて、あらゆる方向のローテーションが可能)



7. バランスシリーズ(0.3): 左脚を90°前方に支持なしで挙げたバランス+軸足を変えるための(足を閉じず)1ステップ+右脚を135°以上に挙げ、片手または両手支持による側方バランス



8. ステップ、スキップ、ホップシリーズ(0.3): 6歩以上で、2つの異なるタイプを含み、移動を伴うシリーズ
9. アクロバットムーブメント: 自由選択
10. コンビネーションシリーズ(0.5): 必ず1つのボディームーブメント+他の要素(バランスまたはリープ/ジャンプ)で構成しなければならない

可能な組み合わせ:

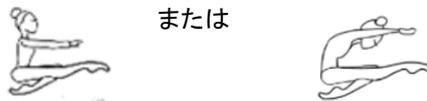
- ボディームーブメントシリーズ+リープ/ジャンプ
- ボディームーブメントシリーズ+バランス
- リープ/ジャンプ+ボディームーブメントシリーズ
- バランス+ボディームーブメントシリーズ

11. 前後開脚(右脚前&左脚前)のフレキシビリティムーブメント2つ(各0.1=0.2)ー 他の必須要素に含むことも可能
12. トータルサイドボディーウェーブ(0.3)ー 必須要素のボディームーブメントシリーズに含むことも可能
13. トータルサイドボディースウィング(0.3)ー 必須要素のボディームーブメントシリーズに含むことも可能

注意! 演技構成中の規定要素の順序は自由。技術的価値がカウントされるためには、チームの三分の二の選手が必須要素を適切に実施する必要がある。

2.7.2. テクニカル要素 8-10/10-12 歳

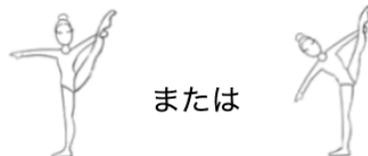
1. リーンを含むボディームーブメントAシリーズ(0.3)
2. ベンディングを含むボディームーブメントBシリーズ(0.4)
3. ツウィスティングを含むボディームーブメントCシリーズ(0.5)
4. 単独のリープ/ジャンプ(0.2):アッサンブレから右脚が前方のコサックジャンプ、上体は垂直または前方にベンディング



5. リープ/ジャンプシリーズ(0.3):右足踏切の左足前方の鹿シヤンノキ左足踏切の右脚90°に挙げたパッセリープ、BMを含むことも可能。ジャンプの間での1歩または3歩のステップは許可する。



6. 単独バランス(0.2):左脚を左手で支持し、開脚度が135°以上で、上体を垂直または右に傾けた側方バランス



7. バランスシリーズ(0.3):右脚を最低90°前方に挙げ、支持のあるバランス+軸足を変えるための(足を閉じず)1ステップ+左脚を後方に挙げ(最低90°)さらに上体を前方へ傾けた(水平面)スケールバランスの2つのバランスを含むシリーズ



8. ステップ、スキップ、ホップシリーズ(0.3):6歩以上で、2つの異なるタイプを含み、移動を伴うシリーズ
9. アクロバットムーブメント:側転(あらゆるタイプ)
10. コンビネーションシリーズ(0.5):必ず1つのボディームーブメント+他の要素(バランスまたはリープ/ジャンプ)で構成しなければならない

可能な組み合わせ:

- ボディームーブメントシリーズ+リープ/ジャンプ
- ボディームーブメントシリーズ+バランス
- リープ/ジャンプ+ボディームーブメントシリーズ
- バランス+ボディームーブメントシリーズ

11. 前方の床上での前後開脚(右脚前&左脚前)のフレキシビリティムーブメント2つ(各0.1=0.2)ー 他の必須要素を含むことも可能
12. トータル前方ボディーウェーブ(0.3)ー 必須要素のボディームーブメントシリーズを含むことも可能
13. トータル前方ボディースウィング(0.3)ー 必須要素のボディームーブメントシリーズを含むことも可能

注意! 演技構成中の規定要素の順序は自由。技術的価値がカウントされるためには、チームの三分の二の選手が必須要素を適切に実施する必要がある。